

見附特別支援学校 学校だより



見附市立見附特別支援学校
令和5年度 第6号
令和5年 10月 27日
新潟県見附市月見台 1-10-74
電話 (0258) 63-2210

11月1日より当校も含め、市内の小中学校、特別支援学校のホームページが新しくなりました。こちらもぜひご覧ください。

生徒の「可能性」を引き出すために～きらっとonステージの舞台裏～

高等部主事

「きらっとonステージ」で歌唱やダンスの発表を始めて3年目の今年…。「今年の歌とダンスは何にしようか…。今年は生徒とどう向き合いどういう形で進めていこうか…。これまでを振り返れば、私たち教師の心配をよそに生徒たちが生き生きと思いきり楽しんで表現する姿が思い出され、今年も絶対生徒はやってくれる…と私は色々な思いを巡らせていました。そんな思いを学部の先生方に伝えたところ、今年は、テーマ決めから選曲、歌唱表現についても生徒の意見を取り入れ、できる限り生徒主体で行ってみようということになりました。生徒が活躍する姿を思い描きながら授業構成を考えたり、リーダー生徒をどう生かすか作戦を練ったり…。「こんな風に生徒に働きかければきっと○○になるだろう…、きっと生き生きやってくれるだろう」という思いを伝え合いながら、先生方の意識が高まっていくのを感じ始めたのです。そして活動開始。まずは愛好会メンバーによる昼休みのダンス練習。これまで以上に高度な技能とリズム感を要するも、練習するごとにメンバーの気持ちは高まり、一体感のあるダンスに仕上がっていきました。全員ダンスでは、体育の時間に動画を撮って動きを確認したり、プロダンサーからの教えを生かしたりするうちに、全員の心の中に「一体感をもってカッコよくきめたい」という気持ちが生まれていきました。また音楽の時間の歌唱練習では、生徒たちは想像以上に真剣な眼差しで「この部分を～したらもっとよい感じになるのでは。この部分はみんなの手拍子を入れたらどうか」など、表現の工夫とアイデアを膨らませてくれました。そして迎えた本番。生徒たちは会場全体を感動させるほどの心のこもった歌唱とダンスを披露してくれたのは言うまでもありません。今回の舞台を通し、「教師が生徒たちのことを真剣に考え、向きあっていけば、子どもたちは必ずやり遂げ、そしてみんなで力を合わせて一緒に頑張ろうとする」ということを再確認することとなりました。「最高の生徒と最高の教師に出会えた」と実感した一日となりました。

学部紹介～10月7日（土）「きらっとonステージ」を行いました。～

おなが
ぺっこぺこ

下学年は、『はらぺこあおむし』
を歌と身振りで表現しました。

♪ラララ 虹が 虹が…

小学部

上学年は、手遊び歌やリズム演
奏、手話ソングを発表しました。

練習を重ねることで全体の流れや自分の動きを覚え、当日
は自分の役割をしっかりと果たしました。一人一人の笑顔が
きらっと輝く「みんなが主役！」のステージとなりました。

♪二丁目のセブン…

中学部



「よさこいソーラン」全体の様子



♪やぁ〜、やれんソーラン…、ハイハイ!



♪どっこいしょー ♪どっこいしょー

中学部の今年のスローガンは「仲間とともに地域とつながろう」です。

披露したのは、「よさこいソーラン」と「ダンスホール」です。

特に、「ダンスホール」の歌詞で【いつだって大丈夫この世界はダンスホール。君が居るから愛を知ることがまた出来る。“大好き”を歌える。】は、私たちのテーマに相応しいもので、見附の人々と関わり、育ち、郷土を愛する心を育てることにつながります。

当日は、たくさんの保護者の方々が参観、激励に来てくださり、生徒は張り切って演奏と踊りを披露してとても嬉しそうでした。



「ダンスホール」全体の様子



♪いつだって大丈夫 この世界は〜



♪“大好き”を歌える

高等部



愛好会メンバーによるダンス「エジソン」



合唱曲「君に捧げる応援歌」



合唱の最後の方で、みんなで考えた手拍子のパフォーマンス

高等部のスローガンは「シャキッと青春！明日へきらめけ！未来へとときめけ！」でした。

まず、前期の校内・職場実習の様子を映像で紹介した後、「君に捧げる応援歌」の合唱とダンス2曲を披露しました。合唱は、よりよい表現方法を生徒全員で検討しながら練習を進めました。ダンスは、昨年度に引き続きプロダンサーの中澤利彦様から指導をいただき、日に日に躍動感のあるダンスに仕上がっていきました。練習の成果もあり、当日は最高のパフォーマンスを披露することができました。



高等部全員で披露したダンス「新時代」



それぞれの個性を生かしながらも一体感のあるダンス